

安 全 情 報

No 2 / 2016

リベルタドール市、チャカオ市における爆弾事件に関する注意喚起

昨年 12 月 21 日、チャカオ市アルタミラ地区のアンデス開発公社（CAF）のビル 1 階に仕掛けられた爆弾が爆発し、建物に損傷を与えました。また、1 月 26 日、リベルタドール市カピトリオ地区及びセントロ地区エスキナ・デ・パハリトスにおいて、4 つの爆弾が仕掛けられ爆発しました。

各事件とも、物的な損害のみで死傷者は出ていませんが、今後も同様の事件が発生する可能性があることから注意が必要です。

なお、26 日、リベルタドール市カピトリオ地区で発生した爆弾事件は、いずれも国会議事堂周辺で発生しており、当国の過激派組織であるポリバル解放戦線が犯行声明を出しています。報道によると、声明内容は、野党を攻撃する内容であり、与党と野党が対立し国会運営が停滞する中、再度、同組織による犯行が行われる可能性がありますので、以下の点に十分留意願います。

- 国会議事堂や政府機関の建物周辺には、近付かない。
- 政治的に過激な思想を持つと思料されるような人物や団体には近付かない。
- 群衆が集まる可能性がある場所（広場等）にはできる限り近付かない。
- 不要不急の外出は極力控える。
- 外出前には、テレビ・インターネット等で最新の情報を収集する。